

下水道展'18北九州における国土交通省関係企画

企画名	開催場所	開催日時	概要
下水道経営を考えるシンポジウム	西日本総合展示場 21会議室	7月24日(火) 13:30～16:00	基調講演にて、下水道事業の経営改善に向けた国土交通省の取組として、「下水道事業における広域化・共同化の事例集」及び「Model G」を紹介する。さらに、「広域化・共同化と官民連携を考える」をテーマに、下水道事業者等に参加いただきながら、事例発表及びパネルディスカッションを実施する。
AWaP 第一回総会 ※AWaP(Asia Wastewater management partnership: アジア汚水管理パートナーシップ)	国際会議場 国際会議室	7月25日(水) 9:00～11:50	AWaPでは、汚水管理の意識向上を図り、汚水管理の進捗状況整理、具体的なプロジェクトの実施などに取組む。 総会では、日本を含むアジア6カ国や国際機関が参加し、AWaPの活動計画や汚水管理のモニタリング方法等を議論し、北九州宣言としてとりまとめる。 http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000379.html
AWaP 設立記念シンポジウム	国際会議場 メインホール	7月25日(水) 13:00～15:00	国際機関による基調講演、参加国によるパネルディスカッションを通じ、SDGs達成に向けた各国の取組方策・活動計画を共有する。
B-DASHガイドライン説明会 ※B-DASHプロジェクト(Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project) 国が主体となって、実規模レベルの施設を設置して技術的な検証を行い、ガイドライン化して革新的技術の全国展開を図っていくことを目的とした事業(下水道革新的技術実証事業)。	西日本総合展示場 32会議室	7月25日(水) 13:00～16:30	ガイドライン化された「下水圧送管の腐食点検・調査技術」、「中小規模下水処理場向け下水汚泥有効利用技術」、「ダウンサイジング可能な下水処理技術」について解説する。あわせて、平成25年度に採択されたB-DASH技術の普及展開事例等について紹介する。
シンポジウム 「市民科学による新たな下水道事業の展開に向けて」	西日本総合展示場 32会議室	7月26日(木) 13:30～15:45	下水道が街に“あって当たり前”になり、市民の下水道への関心が薄れつつある中、地域の活動団体が、調査研究活動を行う「市民科学」の取組を下水道を対象に行う事例が増えている。本シンポジウムでは、市民科学の取組が、「下水道の見える化」に繋がった先行事例の紹介・ノウハウの共有、および普及展開に向けた意見交換を行う。

※「AWaP 第一回総会」及び「AWaP 設立記念シンポジウム」は、下水道展'18北九州の企画には含まれないが、下水道展に併せて隣接会場にて開催。